

うりずんとは…「潤う」と水が土にしみとおる「染む」からなる言葉で、沖縄の若夏をあらわします。さわやかな南風が吹き、野山は緑にあふれます。うりずんのようにやさしい風に包まれて、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいという思いから名付けられました。

いつもご支援いただき誠にありがとうございます
夏休みは、多くのお子様たちでにぎわいます

今年も、気温は高めの予想です
木陰と芝生とそよ風が確保できない時は
水分と塩分をとってひと休みがオススメです
暑さにめげぬようお元気で過ごしてください

暑中お見舞い申し上げます

2013年 盛夏

特定非営利活動法人うりずん

理事長 高橋昭彦



♣ 記憶を新たに

今年7月から節電が始まりました。2011年の夏は、明かりを減らし、エアコンの設定温度を上げて節電をしていました。今年は数値目標がありませんが、できる範囲で節電をしています。

東日本大震災後の停電とそれに続く計画停電は、人工呼吸器が必要な子どもと家族には厳しいものでした。当時、うりずんには非常用発電機はありませんでした。その時、旧うりぼうの吉川さん(現・理事)が「何か必要なものはないか」と声をかけてくださり、発電機を購入するための寄付を呼び掛けてくださったことが、うりずんを法人化する発端となりました。今では皆様に買っていただいた発電機2台と、非常用バッテリーも準備しています。

人は、過去を忘れるという過ちを繰り返してきました。だからこそ、資源は有限であること、災害はいつ起こるかかわからないこと、そして、まだ故郷に帰れない人がた

くさんおられることを、私たちは忘れてはならないのです。

♣ 2事業年度が終了

2013年4月末で、うりずんは2事業年度を終了しました。居宅介護ホームヘルプは延べ535時間、日中一時支援(日中お預かり)は延べ726名のご利用がありました。

実質的な初年度ということで、6月に設立記念学習会を公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成により開催しました。また、独立行政法人福祉医療機構の助成により、うりずん学習会(9月、12月)、クリスマス会(12月・NPO法人のだいじょうぶさん、サバイバルネット・ライフさんと合同)を開催し、教育支援、校外学習の支援も行いました。

2013年1月、うりずんの活動がNHK総合テレビ首都圏ネットワークで放送され、多くのあたたかいメッセージや寄付を

いただきました。昨年度の寄付の合計額は、予想を大きく超える9,937,372円でした。ここに、厚く御礼申し上げます。

♣ 草の根ファンドレイザー

Mさんは、うりずんが特定非営利活動法人となる前からお世話になっている方です。お仕事の農業関係、ご近所、友人など、いろいろな方に声をかけて会員や寄付の営業をしてくださっています(これをファンドレイジングといいます)。3,000円×100人×2年という認定NPOの条件を聞いて、自ら立ち上がってくださいました。Mさんの特徴は、自分の足で現金で集めてくださること。そのため、申し込み用紙やチラシなどを持ち歩いて下さっています。素晴らしい草の根ボランティアです。他にも、訪問看護ステーションMさんや、ヘルパーステーションNさんは、職場内に募金箱(募金缶ともいう)作ってくださっています。皆様に感謝です!

こんにちは! Tinyです 「チャリティー・じゃずこんさあと」へのお誘い

障がいがあってもなくても安心して子育てしたい、人と人をつながりたい、学生(保育者・音楽療法士の卵たち)を育てたい、私たちもつながりたいと、大学教員の有志が集まってTiny(=ちっちゃな)の活動を始めました。現在の主な活動は、障がいのある子どもと家族と一緒に楽しむ遊びの集いです。遊びは本来“自由”で“楽しい!”もの。ママもパパも兄弟姉妹も、もちろん障がいのあるお子さんも、皆が自分らしく安心して楽しめる場を目指しています。

今回の「チャリティー・じゃずこんさあと」は、参加者が楽しつつ、障がいのある子どもと家族のことを知っていただき、一人ひとりが元気をもらい、皆がつながり、共に支え合いたくなる、そんな集いになればと期待しています。日頃からうりずんを応援くださる皆様をはじめ、今まで障がい児とかかわりのなかった純粋なジャズファン、その他

の参加者の方々、たまたまその場に集い合えたみんなが、この機会に愉しくつながり合えたらどんなに素敵でしょう!! 目に見えない豊かさを現実に見せてくれる時間に…。

※収益金は全額、「特定非営利活動法人うりずん」と宇都宮市社会福祉協議会に寄付し、地域での障がい児と家族の支援及びレスパイトケア運営の資金に充てさせていただきます。また、今回は一般向けの企画のため託児の準備がなく、就学前のお子様はご遠慮いただくこととなります。このコンサートが成功すれば、いつかお子様も一緒に参加できるコンサートを実現できたいと思います。多くの皆様のご来場お待ちしております。

(Tiny代表 土沢 薫)

チャリティー・じゃずこんさあと

日時: 2013年9月22日(日)
15:30開演(15:00開場)
会場: 宇都宮共和大学長坂キャンパス
須賀友正記念ホール
出演者: Vocal豊田チカ & 小山太郎トリオ
チケット: 一般1000円・学生500円
全席自由・ホール収容人数508名
※チケット購入については、うりずんまでお問い合わせ下さい。



最前列右から3人がTinyの教員メンバー。他がボランティア参加の学生および卒業生(名付けてTiny隊)。

参加して来ました!

全国「緊急」シンポジウム 「今後の医療的ケアを考える」in 京都

平成25年6月16日(日)、京都でNPO法人医療的ケアネット主催の「医療的ケア」についてのシンポジウムが開催されました。うりずんで一番若いスタッフの私が前日から京都に一泊してお話を聞いてきました。

*

うりずんのご利用者様や、障がい児者施設などで働いている人はよく耳にする「医療的ケア」という言葉ですが、一般的にはあまり聞き慣れない言葉だと思います。

医療的ケアとは、本来看護師や家族が日常的に行っている吸引(口や鼻、気管切開部からチューブを入れて痰を取る)、経管栄養(胃ろうや鼻から管を通して、栄養剤を注入する)などの、生活支援行為のことをいいます。現在では、介護職や特別支援学校の教員が研修を受ければ医療的ケアをすることができるようになりました。

近年医療の発達によって、医療的ケアが必要な子どもが病院ではなく在宅で生活できるようになり、その結果全国的に地域で暮らす重度の障がいを持つ子どもが増えています。しかし医療的ケアができる介護職や、教員が増えてきてはいますが、全く追いついていないのが現状です。

「医療的ケア」の違法性阻却から一部法制化1年、福祉に医療を取り込むが福祉予算の増減はなく、病院医療から在宅医療へという「お金がかからない」市場原理で、長期療養の重症者の追い出し策が少しずつ見えてきています。

*

今回は「医療的ケア」の「職業化」で超重症児の生活の質が保証されるのか? 安全、安心な地域での連携をどうつづいていくのか。などの議題についてシンポジウムが行われました。

医療的ケアは何故必要なのか? 在宅で暮らす超重症障がい児者は全国にどのくらいいるのか? 介護職・教員が医療的ケアをするために必要な第1・2号研修と第3号研修の課題! 超重症障がい児者の方は本当に施設入所を望んでいるのか? 今後どのくらい障がいを持つ人が増え、どのように社会が対応していかなければならないのか? 超重症障がい児者の地域支援の課題など、熱い魂を持った医療的ケア界で



シンポジストの皆さんとご一緒しました
(向かって左から、佐藤、国本さん、下川さん、前田さん、杉本さん、平元さん)

は名だたる方々からの講演と会場とのやりとりが続きました。

*

今うりずんの抱えている問題は、まさにこのシンポジウムの内容と一致し、全部うなずいて聞いてしまいました。このシンポジウムに参加して、本当に色々な課題がありすぎて正直なところ解決方法が見えないのですが、全国に同じ思いを持っている人たちがいて同じ悩みに立ち向かっているのだと感じました。今回このシンポジウムに参加して私は、これからも、地域で暮らす障がい児者の方やその家族が少しでも安心して暮らしていける環境を作っていけたら良いと思いました。
(NPO法人うりずん 佐藤英治)

《シンポジウムの内容》

基調講演・シンポジウムコーディネーター

■ 杉本健郎さん (NPO法人 医療的ケアネット理事長)

「千葉から東京へ、訪問診療から見える超重症児者の地域支援の課題」

■ 前田 浩利さん (子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田院長)

「北海道の医療的ケアを必要とする障がい児者のマッピングとそこから見える今後の課題」

■ 平元 東さん (北海道療育園園長)

「地域の訪問看護・福祉からみた超重症児者支援の課題」

■ 李 国本 修慈さん

(NPO法人地域生活を考えようかい代表理事・有限会社しえあーど代表取締役)

「学校での『医療的ケア』の歴史と現状、そして今後

■ 下川 和洋さん (NPO法人 地域ケアサポート研究所)

うりずん役員紹介



● 名 前: 仲村 久代 (なかむら・ひさよ)

● 経 歴: 現在は、DV(ドメスティック・バイオレンス)被害女性と子どもが地域で安全に安心して暮らすためのお手伝い。その前は、在日ヒスパニック系女性の生活支援など、女性の人権を守る活動をしてきました。

● 尊敬している人: 自分のすべきことに向かって希望を持って進む人

● 休日の過ごし方: だらだらと過ごします。時々ベランダの植物の手入れ

● うりずんに対する思い:

寝転んだり、おやつを食べたり、日陰でお昼寝できる芝生のお庭があって、駐車場には、だれもが乗りたくなくなる楽しい絵が描かれた、リフトカーが格納。相談ルームでは、スタッフがご家族と丁寧なミーティング。BGMの流れる自由空間では、利用者のご家族が語り合う。こんなうりずんを夢んでいます。私だけの夢にしないために、皆様にご寄附のお願いをしていきたいと思っています。

日中一時支援事業(レスパイトケア)
サービス提供責任者 山元 朋子

うりずん日記

本 格的な暑さになってまいりました。ここ栃木県宇都宮市も猛暑が続いております。うりずんスタッフも脱水にならぬよう水分補給をしながら日々元気に過ごしております。

季 節は夏！ということで今年の夏の活動テーマは、「夏を感じよう！！」です。夏休みシーズンのうりずんは、大賑わいになります。うりずんには就学している利用者様が多く、夏休みに利用する回数も増えるわけです。とっても有難いことですね。

今年は、介護スタッフを中心に夏らしい活動を色々と計画してくれています。水遊びやかき氷、ヨーヨー釣り・・・様々な案に楽しい妄想ばかりしています。スタッフは体力勝負ですので、努力するしかありません！！でも利用者様と一緒に夏の暑さと水や氷の涼しさを感じることができるのでワクワクなのです。夏の活動については、本号に介護スタッフからの報告を



載せていますのでご覧ください。

皆 様のご寄付を利用者様の余暇活動に使わせていただけると何だかとても嬉しくなります。スタッフだけでなく、私たちの活動を応援してくださる全ての人たちと繋がっているような・・・そんな温かい気持ちになります。スタッフ一同感謝申し上げます。

日中一時支援事業

●平成25年4月～6月のご利用状況 (人)

4月	5月	6月	合計
43	61	69	173

* いずれも延べご利用人数です

●平成25年4月～6月のご来所状況 (人)

	4月	5月	6月	合計
見学者	0	0	2	2
ボランティア	0	0	6	6
計	0	0	8	8

●現在の登録状況.....24名

* 登録ご利用者の年齢 1歳～20歳
* 現在契約準備中の方 0名

居宅介護事業

●現在の登録状況..... 3名

* 現在契約準備中の方 0名

※詳細につきましては、ひばりクリニックHP「うりずん活動報告書」をご参照ください。

うりずんの仲間たち

名前：佐藤 千花 さん

(はなちゃん、ちーちゃん、ちはな)

学年・年齢：のざわ特別支援学校小学部 4 年生、9 歳

好きなこと：絵本を読んでもらうのが大好きです。お風呂（入浴）＆洗髪、抱っこしてもらえると、ニコニコです。

嫌いなこと：歯磨きが苦手です。顔を拭かれること

うりずんってどんなところ？：千花にとってうりずんは、お友達やスタッフの皆さんと楽しく遊べる憩いの場所です。家族にとっても安心して預けられる素敵な癒しの場所です。

最後にメッセージ：今年1月に胃ろう造設手術をして鼻注から胃ろうになりました。おかげで、声もたくさん出せるようになり、鼻チューブがなくなり顔がスッキリとしてチャームポイントの笑顔が、前にも増してたくさん出るようになりました。これからも、お友達みんなとたくさん楽しいことをして、いっぱい笑いたいです。これからも、よろしくお願いします。



10歳のハーフ成人式です！

名前：赤羽 大樹 さん (だいちゃん)

学年・年齢：11 歳 6 年生 (今年からのざわ特別支援学校の訪問学級から通学になりました。)

好きなこと：学校に行くこと、抱っこ、風にあたる事 (笑顔になる)、甘いもの (スイーツ男子♡)、遊ぶこと

嫌いなこと：赤ちゃんの泣き声

うりずんってどんなところ？：

スタッフの皆さんがいつも温かく迎えてくれて友達にも会える楽しく笑顔になれる場所です。

最後にメッセージ：今年から通学になって以前のように利用する機会が減りましたが、これからもうりずんで楽しい事をたくさん体験していきたいです。



ウイングヒルチャペルの皆様ご訪問!!

6 月14日(金) ウイングヒルチャペルの小比内(こがうち)様ご夫妻とお子様たちがうりずんに遊びに来て下さいました。



抱っこ嬉しいね♪

ウイングヒルチャペルは、千葉県印西市にある教会です。今年の1月にうりずんのことを紹介されたNHK 首都圏ネットワークをご覧になった同教会の牧師、床井洋様とご家族が2月に来て下さり、それ以来、うりずんにとっても関心を持って頂き、「団体賛助会員となり寄付も呼びかけて定期的継続的に支援したい」「ボランティアとして訪れ、読み聞かせや音楽を届けたい」ということで交流が続いています。

*

今 回は、中・高校生のお兄さんお姉さんがギターやリコーダーをうりずんの利用者様のために演奏して下さいました。「世界に一つだけの花」「夏の思い出」「となりのトトロ」など、本当に素敵な演奏で、まるでミニコンサートのような雰囲気、うりずんの利用者様もとても



お兄さんがギター弾いてくれたよ



後列右から 小比内諒矢様 小比内慎悟様 小比内智子様
伊藤果南様、小比内寧々様

満足していました。「また、来るね」と利用者様と笑顔で約束を交わしました。

*

ウ イングヒルチャペルの皆様、たくさんの温かいご支援、本当にありがとうございました。また、遊びにいらして下さい。うりずんの利用者様と一緒に、スタッフ一同、心よりお待ちしております。



お姉さんのリコーダーにウツトリ

みんなの作品



Tシャツ



七夕飾り



鯉のぼり



時計

●新しいスタッフの紹介●



豊田 紀子

●はじめまして。4月9日に看護師として入職いたしました、豊田紀子(とよだのりこ)と申します。

10年前に大学病院を退職後、結婚・3人の子育てと、主婦としてバタバタと過ごしておりました。この度縁ありまして、う

りずんでお世話になっております。

皆さまには、安全・安心・そして楽しくうりずんをご利用いただけるよう、頑張ってます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

看護師・介護職募集中

●うりずんでは、看護師・介護職を募集しております。障がい福祉分野を経験された方やこれから経験したい方で、うりずんの事業に関心のある方……是非うりずんで一緒に働きませんか!?

事業
内容

医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア、ホームヘルプなど。訪問看護に関心のある方もご一報下さい。詳細はうりずんまでお問い合わせください

連絡先▶ ☎028-601-7733 (水・日・祝祭日はお休みです)

編集後記

今年も夏がやってきました。

うりずんでは 脱水予防や、熱中症予防に気を付けてケアを行っています。

この暑い夏も吹き飛ばすぐらいのうりずんパワーで日々楽しく過ごしていこうと思います。

うりずんを応援して下さいの皆様もどうかお身体に気を付けてお過ごし下さい。

佐藤



うりずん通信・テレマカー

第 6 号 2013年 7月25日発行

URIZUN

<http://hibari-clinic.com/urizn/index.html>

《編集・発行》 特定非営利活動法人 うりずん

〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丙357-14

TEL: 028-601-7733 FAX: 028-665-8899

Mail: urizn@hibari-clinic.com

《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス

平成25年度第1回理事会 報告

6月1日、とちぎ若者サポートステーションの会議室をお借りしてNPO法人うりずん本年度第1回目の理事会が開催されました。梅雨本番を迎えた宇都宮に全役員8名(内書面表決者1名)が集い、昨年度事業報告、本年度事業計画、予算案などについて審議が行われました。

*

出席者は、重い障がいを持つ利用者様をお預かりしてご家族に安心と休息を提供するレスパイトケアの重要性と必要性を再確認するとともに、NHKの番組でうりずんの活動を紹介していただいたおかげで、全国から寄付が寄せられ、昨年度収支を黒字化できたことが報告されました。

高橋理事長からは、利用者様の急な容態変化などでキャンセルが発生した場合、その分の収入が入ってこない(24年度は予約の29%がキャンセルとなった)ため、まだまだ厳しい財政運営が続いて



第一回理事会が無事終了!
左から高橋理事長、原澤副理事長、吉岡理事、秋元理事、関口理事、仲村監事

いること。事業を継続・発展させていくためには会員・寄付者に継続的な支援をお願いしていくことが不可欠なこと。そのためにも寄付者の税額が控除される認定NPO法人格の取得が必要なことなどが報告されました。

他に、全役員の再任、訪問看護ステーションの設立、法令変更にもともなう定款の変更、また、厳しい財政運営と人員不足の中で日々奮闘中の職員へ初めてとなる賞与の支給が満場一致で承認されました。(報告者 事務担当/我妻英司)

うりずんの活動 “夏”

今年の夏は、
ペンギンさんと
南極気分!?



暑い夏の季節が待ち遠しい今日この頃、うりずんでは“夏”を楽しむための活動を企画しています。

夏の遊びの王道!水遊びをはじめ、かき氷を作る、風鈴を作る、等など通常の活動に夏色を加えてみんなで楽しめたらと思っています。皆様からの温かいご寄付の一部を、この夏の活動に使わせていただくことになりました。

かき氷機や風鈴づくりに使用する物品、水遊びに使うおもちゃ類などを購入させていただきました。ご支援ありがとうございました。

お知らせとご支援のお願い 5月から会員の更新が始まりました

*うりずんは、お陰で2013年4月末で2事業年度を終え、2013年5月より3事業年度が始まりました。今年度の賛助会員になって下さった方、ご寄付を下さった方にはうりずん通信テレマカシーをお送り致します。今後ともご支援下さいますようお願い申し上げます。(理事長 高橋昭彦)

ご支援のお願い

事務処理上の関係で大変恐縮ですが、必ず賛助会員・寄付申込書をうりずん宛にFAXまたは郵送でお送りください。

用紙はホームページ (http://hibari-clinic.com/shiryo_box/file/urizun_kifu.pdf) に掲載しております。(または、FAXでご連絡いただければ、用紙を郵送いたします。)

入金ならびに申込用紙をこちらで確認できた後に、領収証をお送りさせていただきます。

【記入上のご注意】

必ず、申込者のお名前、ご住所、申込内容ならびに金額、匿名希望について記入していただきますようお願い申し上げます。

○賛助会員のお申し込みの場合

個人年会費 または 団体年会費 のどちらかを選択してください。

○一般ご寄付のお申し込みの場合

- ①一般寄付(使途自由) ②スロープ車うりぼう号の購入
 - ③子どもと家族のための地域拠点整備
 - ④外出支援(修学旅行など)
- の中から一つを選択してください

【各種振込先のご案内】

※振込み手数料は別途ご負担をお願い致します。

ゆうちょ銀行<ゆうちょ銀行からのお振込み>

口座番号: 00110-4-441471

口座名: 特定非営利活動法人うりずん

<他の銀行からお振込みの方>

銀行名: ゆうちょ銀行

支店名: ○一九支店(ゼロイチキョウ支店)

口座番号: (当座) 0441471



おいしいもの紹介

今市小判

今回は初めて利用者様の保護者の方からのおいしいもの紹介です!!

大野唯ちゃんのお父様、大野敦史様からの紹介です。

「今回、おすすめするスイーツは、JR今市駅から北に100mほど行った

右側にある、

『シェ・アカパネ』の『今市小判』です。初めて口にした時の感動は、今でも忘れません!!!是非食べてみてください!

因みに洋菓子屋さんで、全てがお勧めであり目移りは必死ですよ」と、コメントも頂きました。

さっそく『シェ・アカパネ』に行って『今市小判』買ってきました。

食べると口の中でとろけるチーズケーキ!甘いチーズの香

りが口の中に広がり幸せな気持ちに!!!

本当においしい『今市小判』是非食べてください。また、『シェ・アカパネ』もとてもオシャレな雰囲気のお店でおいしそうなケーキやスイーツもいっぱいでした!!

【シェ・アカパネ】

日光市平ヶ崎 101-21 TEL.0288-21-1559

NPO法人うりずんでは
通信発行を支援してくださる
協賛企業様を
随時募集しております。

「うりずん通信・テレマカシー」は年4回の発行となります。一回の発行費用に、印刷・郵送代などで15万円ほど必要となります。

そこで、広告代として通信発行を支援していただける協賛企業様を募集いたします。(1口2万円)

次号掲載のご希望の方は、8月中旬までにNPO法人うりずんまでご連絡ください。皆様方のご協賛・ご支援を宜しくお願い申し上げます。



NPO法人うりずん寄付者名簿 (敬称略)

平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日 (到着分)

ご寄付 1,970,568 円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■一般寄付者 延べ 128 名 (うち匿名希望 25 名)

*掲載順は都道府県の50音順になっております。

宮 城	宇都宮市	塚本 明子	下野市	村尾 捷利	和光市	浅野 政子	横浜市	永田 幸雄
	大崎市	塚本 竜也	鹿沼市	須田 啓一	千 葉		鎌倉市	本塚 幸雄
栃 木	宇都宮市	鶴見 信子	日光市	我妻 英司	千葉市	櫻井 開之	大和市	村松 豊子
	赤羽 隆子	特定非営利活動法人 たからぎ		大橋 康宏		柚崎 通介	藤沢市	新田 文恵
	荒井 南美	徳山 篤		加藤 浩治	印西市	ウイングヒルチャペル		平元 詢二
	石川 恵子	羽田 洋子		斉藤 睦子	我孫子市	森田 茂生	滋 賀	
	伊藤 康夫	長野 純子		鈴木 法子	四街道市	久米 倫男	大津市	淵元 浩二雄
	ピノキオの会	奈良クニエ		手塚 コウ	松戸市	安西 順子	長浜市	高橋 信義
	臼井 佳子	橋本 紀子		長嶋須美子	東 京			布施 隆治
	大門 亘	橋本 正行		沼尾 泰子	江戸川区	清水 勝利	東近江市	山崎多美奈
	岡部 昇子	藤岡 浩美		芳賀 勝夫	文京区	山崎 展子		立岡 暁
	鴨志田好子	村田 隆一		芳賀マサ子	中野区	宇野 雅子	大 阪	
	小滝 恵江	山中 節子		長谷川興賢		宇野 裕	泉大津市	吉川かおり
	里村 泰行	大木 富江		平木千紗子	世田谷区	秋山 をね	石 川	
	篠崎 文男	介護事業所 にこぐさ		森田 孝子		上原 靖之	小松市	中井奈穂子
	洪川 典子	林 みゆき	高根沢町	佐藤 正行	大田区	森山 優子		愛 媛
	清水 秀昭	若狭 一美	壬生町	米内 美代	国立市	長嶋 史乃	松山市	窪田 静
	白石 洋子	青野 浩子	在宅療養支援者の会 みぶの会		三鷹市	ボランティアグループ マダムカッコー (代表 斉藤恵美子)	福 岡	
	関口 清美	荒井 康之	市貝町	鈴木奈津子	多摩市	楠本 郁子	久留米市	福田明子雄
	関口 忠司	高田 貴	群 馬		立川市	宮田 章子	カナダ	
	高木 敏江	深谷 祥子	高崎市	千 康夫	神奈川		Vancouver	別所 智子
	高柳慎八郎		埼 玉		横浜市	尾崎 雄	匿名 25 名	
	竹内美由紀	小島 好子	さいたま市	藤本 真二		尾崎 和子		
	田中 宣行	寺沼 幸子	本庄市	坂本喜久枝				

■賛助会員 193 名 (うち匿名希望 37 名)

宮 城	宇都宮市	助川 勉	小山市	池之内光子	壬生町	米内 美代	横浜市	永田 幸雄
	大崎市	関口 忠司		太田 秀樹	茂木町	高津戸英男	鎌倉市	本塚 幸雄
福 島	伊達市	高木 敏江		佐野 光司	埼 玉		大和市	村松 豊子
	齋藤 祐司	高木登茂子		茂田 郁子	さいたま市	藤本 真二	藤沢市	新田 文恵
茨 城	つくばみらい市	谷 博之		高田 貴	本庄市児玉町	坂本喜久枝		菅原 由美
	結城市	高柳慎八郎		土井 由子	和光市	浅野 政子		佃 朋子
栃 木	宇都宮市	竹内美由紀		深谷 祥子	千 葉			平元 詢二
	赤羽 隆子	田中 宣行	鹿沼市	新川キミ子	我孫子市	森田 茂生	岐 阜	
	荒 るみ子	田村 嘉應		須田 啓一	四街道市	久米 倫男	岐阜市	矢嶋 茂裕
	荒井 南美	塚本 明子	下野市	岡島 美朗	市川市	金屋 友子	三 重	
	池本喜代正	鶴見 信子		小島 好子	東 京		御浜町	奥野 正孝
	石川 恵子	床井 匡子		寺沼 幸子	江戸川区	清水 勝利	滋 賀	
	伊藤みち子	長尾 恵子		村尾 捷利	港区	酒井三貴子	大津市	鈴木 順子
	臼井 佳子	長野 純子		曾根 俊彦	国分寺	広瀬 文子		淵元 浩二
	大門 亘	奈良クニエ	真岡市	石川 恵子	渋谷区	東尾 愛子	長浜市	高橋 信義
	太田 幸子	西岡 隆	日光市	大橋 康宏	小平市	小坂美津子		布施 隆治
	大橋 照美	橋本 正行		小田切直美	新宿区	敷田 牧子		山崎多美奈
	岡部 昇子	橋本 美科		小貫美砂恵		松本 豊正	兵 庫	
	小川 真史	羽石 洋子		金子 祐一	世田谷区	井上 朱実	西宮市	熊野 公子
	小俣みさお	半田 久江		斉藤 睦子	足立区	大熊由紀子	姫路市	清水 英子
	金子 英紀	藤岡 浩美		藤藤 久男	多摩市	村田 君江	石 川	
	川中子武保	増子 孝徳		須佐 佳子		大池ひとみ	小松市	清水まゆ美
	瓦井 健一	増淵喜代子		鈴木 法子	中野区	楠本 郁子		中井奈穂子
	菊池 洋勝	御子貝敦子		手塚 コウ		相澤 裕子	愛 媛	
	草間ヨシ江	御子貝荒江		鶴田 節夫		宇野 雅子	松山市	窪田 静
	黒崎 ヒロ	村田 弘子		鶴田美美子		宇野 裕	福 岡	
	小島ミツイ	村田 隆一		芳賀マサ子	八王子市	大村 茂	久留米市	福田 明子
	佐藤 幸子	山越 篤子		平木千紗子	板橋区	桜井 敏子	福岡市	中川 信介
	倭文 一彦	山中 節子		森田 孝子	府中市	麻生千恵美	宮 崎	
	篠崎 文男	渡辺 史織		矢野 一雄	文京区	山崎 展子	宮崎市	市原 美穂
	柴田 敦子	渡邊 太樹		山内 勝男	立川市	宮田 章子	日南市	池田 輔昭
	清水 秀昭	渡辺 照美	那須塩原市	飯島 恵子	神奈川			
	清水 康子	大木 富江	高根沢町	早乙女正次	横浜市	尾崎 雄		
	白石 洋子	林 みゆき	岩舟町	佐藤 正行		尾崎 和子		
		荒井 康之		永島 緑		中畝 治子		

■団体会員 18 名 (うち匿名希望 3 名)

宮 城	小山市	よつ葉生活協同組合	愛 媛	松山市	医療法人 いとう小児科
	大崎市	医療法人心ひの郷 穂波の郷クリニック		福 岡	
栃 木	栃木市	株式会社 メディカルグリーン	久留米市	福岡 福田こどもクリニック	
	宇都宮市	遠藤小児科医院		長 崎	
		ライフサポート 花の器		時津町 しもむらクリニック	
		社会福祉法人 晃丘会			
		富塚メディカルクリニック			
		医療法人社団宇光会 村井整形外科			